

開講専攻	授業科目	担当教員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 5 セメスター 水・3	保健医療福祉行政論	南 優子	必修	1
授業題目				
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>4 セメスターの保健環境学で学んだ公衆衛生学、特に健康管理制度が、実際の衛生行政・福祉行政・医療行政（保健医療福祉行政）でどのように展開されているかを理解する。</p> <p>保健医療福祉行政の基本的な考え方・法的基盤及び具体的な施策について講義する。また、実際の保健医療福祉計画の企画及び評価について、行政担当者が講義する。 福祉行政は8 セメスター「社会保障制度論」でも講義します。</p>				
授業計画				
<p>第1回 序論：保健医療の歴史と衛生行政・福祉行政の概要・衛生行政体系と地域保健（南 優子）</p> <p>第2回 保健行政（健康増進法などの法的基盤、生活習慣病などの疾病対策）（南 優子）</p> <p>第3回 老人保健、老人福祉、介護（辻 一郎）</p> <p>第4回 老人保健、老人福祉、介護（辻 一郎）</p> <p>第5回 保健行政（健康増進法などの法的基盤、生活習慣病などの疾病対策）（南 優子）</p> <p>第6回 国及び宮城県の社会福祉行政の概要（本間照雄）</p> <p>第7回 保健所及び保健センターにおける地域保健福祉活動（佐藤牧人）</p> <p>第8回 保健所及び保健センターにおける地域保健福祉活動（佐藤牧人）</p> <p>第9回 老人保健、老人福祉、介護（辻 一郎）</p> <p>第10回 国及び宮城県の地域医療体制、医療計画の概要（佐々木淳）</p> <p>第11回 国及び宮城県の地域医療体制、医療計画の概要（佐々木淳）</p> <p>第12回 その他の福祉（児童福祉・精神保健福祉・障害者福祉についての概論）（栗山進一）</p> <p>第13回 （特別講義）在宅医療とターミナルケア：終末期医療と福祉の実践（岡部 健）</p> <p>第14回 まとめ（南 優子）</p>				
成績評価の方法及び基準				
<p>期末試験、レポート、出席状況により総合的に評価する。 （期末試験50%、レポート30%、出席状況20%）</p>				
教科書・参考書				
<p>教科書 4 セメスターの保健環境学で使用した「シンプル衛生公衆衛生学」「国民衛生の動向 2005」</p> <p>参考書 標準保健師講座 別巻1 「保健医療福祉行政論」（医学書院）</p>				